

# グループ9社の業績をクラウドで一括管理する

「石油の国・越後」で、ガソリンやLPガスなど、ライフエネルギーの販売をメインに事業を展開しているのが丸新グループだ。ほかにも物流サービスや自動車関連商品の販売などをグループ9社で手がける。約2年前に代表に就任した石黒義久社長がいま取り組んでいるのは「グループ経営力」の強化だ。

## 「昭和の石油王」がグループ創業のルーツ

丸新グループのルーツは「石油」にあるそうですね。

石黒 当グループのルーツは、石油の国・越後において「石油精製」に生涯をかけた新津恒吉氏にさかのぼります。「昭和の石油王」とも呼ばれた人物で、昭和シェル石油の前身の一つである新津石油の創業者でもあります。その恒吉氏の事業を引き継いだのが、丸新グループを創業した新津義雄氏です。車社会の到来のなかで「石油流通」をベースに会社を立ち上げました。

現在の事業内容は？

石黒 石油やLPガスといった生活に必要な不可欠な「ライフエネルギー」の販売を中心に、「物流サービス」「自動車関連サービス」「設備機器・住宅関連サービス」なども手がけています。



石黒義久社長

ガソリンスタンド (SS・サービ) ス・ステーション) については県北部の村上市から南部の上越市まで53店舗を展開しており、ガソリンや灯油を売るだけでなく、車検、車両の整備・販売、レンタカーなどのサービスも行っています。新潟県民は世帯換算で2・1台のクルマを保有し、鉄道が発達した首都圏と比べて重要な交通手段となっています。こうした地域環境をふまえて、ガソリンだけでなく、整備や保険などの自動車関連サービスを通じて、地域のお客さまの利便性向上に役立ちたいと考えています。

またLPガスについても、県内各地に拠点を構え、住宅やお店などに供給しています。それに伴う住宅設備機器 (キッチン、コンロ等) の販売・施工も行っています。そして物流サービスに関しては、石油・LPガスを新潟港から県外の

業者にタンクローリーで運ぶ仕事や、建材などの一般貨物をトラックで運送する仕事などを請け負っています。グループはいま何社で構成されているのですか。

石黒 ①丸新 (LPガス、住宅設備機器の販売、保険など)、②東西運輸 (石油や一般貨物の運送・倉庫管理)、③ときわ設備 (空調や水回りの管工事)、④新津石油 (SS等)、⑤丸新商事 (自動車用品、ギフト・日用品の販売)、⑥ムラネン (SS)、⑦丸新オートセンター (自動車の販売・整備)、⑧丸新ライフサービス (LPガスの販売等)、⑨丸新エネルギー (SS) の9社です。

なお、グループの中核会社は①丸新です。昨年10月に子会社の丸新産業と合併し、グループ再編の口火を切りました。市内の観光スポットにもなつて



石油製品 (ガソリン) やLPガスの販売がメイン

いる「新津記念館」のオーナー企業でもあるのか？

石黒 新津記念館は、恒吉氏が1938年に私邸内に建てた外国人向けのゲストハウスです。フロアごとに英、仏、独の様式にまとめあげられていて、表情の異なる内装が施さ

れています。県内初の有形文化財建造物の登録も受けている、まさに「昭和浪漫の西洋館」ですので、ぜひ一度足を運んでみてください (冬期は休館中)。

石黒社長が代表に就任して以来、積極的に組織改革を進めているとお聞きしました。

石黒 丸新グループが「100年企業」を目指す組織になれるように、昨年4月から「グループ経営計画 (9カ年)」をスタートしています。今

## 「部門の階層別管理」で詳細な業績データを入手

昨年、TKCの『FX4クラウド



物流、自動車関連、住宅関連のサービスも手がける

ド」を導入した狙いは？

石黒 グループ経営力の強化にあたっては、(1) 営業力・販売網の強化 (2) 財務・監査・労務体制の強化 (3) 教育・研修の充実の3点を特に重要なポイントとして位置づけています。『FX4クラウド』を導入したのは、(2) の具体策として掲げる「財務・会計の一括管理」を石田経理事務所と連携して進めるうえで格好のツールになると判断したからです。

続きは、戦略経営者5月号 (発行:株式会社TKC) をご覧下さい。